

令和 8 年 3 月 30 日
世田谷区立桜木中学校
校 長 石井 達也

令和 7 年度学校関係者評価委員会報告を受けて次年度に向けた改善方策

学校関係者評価委員会作成の標記の報告書を受けて、以下の取組を行っていく。

1 学ぶことの楽しさを実感できる学校へ

学校で過ごす時間の中で最も多いのは授業である。楽しい授業の実践が生徒たちの学ぶ意欲の向上につながり、「学ぶことが楽しい」と実感できるようになると考える。

以下の 2 つの方策を示す。

- (1) 校内研修会を活用して、教師の授業力向上を目指す。
- (2) 校長・副校長による日常的な授業観察を行い、指導方法に関するフィードバックを数多く行う。

2 教育目標への意識づけ

教育目標実現のために、全ての教育活動が目標に関連していることを教職員が意識して職務に当たり、保護者にも理解を得る必要がある。

以下に 3 つの方策を示す。

- (1) 教育目標への教職員の意識向上
 - ①職員会議の校長資料で必ず記載し、教職員の知るところとする。
 - ②各種実施要項に教育目標との関連性を示す。
- (2) 教育目標の保護者への周知
儀式的行事・保護者会などの校長挨拶の際のアナウンスとスローガンである「自立への準備」を併せてキーワードとして伝える。
- (3) 生徒へのフィードバック
校長講話・生活指導主任講話における、生徒の活動の価値づけの際の基準として生徒に伝えていく。

3 教育活動の質の向上

- (1) 学校行事：生徒に委ねる範囲を明確にして、生徒の意見を反映させる。
- (2) 部 活 動：部活動ガイドラインを守りながらの活動で、時間を大切に集中して取り組めるよう、計画的に運営する。
- (3) キャリア教育：小学校でのキャリアパスポート活用を参考に、中学校の活用方法を検討し、自身の成長の振り返りの材料とする。

- (4) 安全教育：防災委員会を継続して発足し、安全指導・地域合同防災訓練を基本に、生徒の防災意識向上・地域との連携の要として発展させていく。
- (5) 地域連携：生徒・保護者が地域とつながる場所となるよう、学校運営協議会で議論を進めていく。

4 総括

学校関係者評価委員会でアンケート項目を抜本的に見直し、回答しやすい質問項目への精選を図っていただいたことに感謝申し上げます。

桜木中学校の教育活動に肯定的な回答が多いことは、私たちの自信につながります。しかしながら、少数の否定的意見があることを真摯に受け止め、誰一人取り残さない教育を進めていくことを改めて決意する次第です。

また、アンケート結果から多くの方々が学校 HP をご覧いただいている現状が把握できました。学校公開とは違う日常の桜木中学校の「生」の学校の様子をお伝えすることで、さらなるご理解とご協力を得て学校・保護者・地域が共に子どもたちを育てる好循環を作り出していきたいと考えております。